



A18

※FGOにおける二次創作同人誌です。
実在する人物・団体とは一切関係御座いません。

・アルジュナ×カルナです

たとえ
同じ姿かたち
であろうと

人が理解出来ぬ
名状し難いもの
それを
『化物』と呼ぶならば

オレもまた
その類の
一つなのだろう

あの男の
眼に
映るオレは

正しく
『宿敵』だろうか？
それとも――



まったく、敵前で
呆けてるとか
勘弁しろっての！



——前見ろ、アルジュナの旦那！！



どんだけ
お偉い英雄様か
知りません
けどねえ

こちとら
遊びじゃ
ねーんだよ



はあ、調子狂うわ……
旦那らしくもない

溜め込んでないで
ぶつちやけた方が
良いんじゃないすか？

その、では……
つかぬ事を
お聞きしますが



……すみません

あなたは
殺した相手が

『何者』かを
考えたことは
ありますか

成程、
拗らせてんな……

殺し合いしてるのに
そんなもん
考える余裕なんか
ないでしょうよ

……それも
そうでしたね

こんな事、

考えても
虚しいだけ
だというのに

オレは過去に
オタクがした事は
間違っちゃいないと
思いますけどねえと

どんな卑怯な
矢を撃とうとも

守りたい何かな
あるってんならな



ま、真面目優等生
だからってあんまり
気負いなさんな

とつとつ次
行きますよつと！

…そうだ

余計なことを
考えるな
『アルジュナ』

確かに
あの矢に後悔が
無いと言え
ば嘘になる、が――



私にとって
アレは

乗り越えるべき
『神』のような
男だったのだから

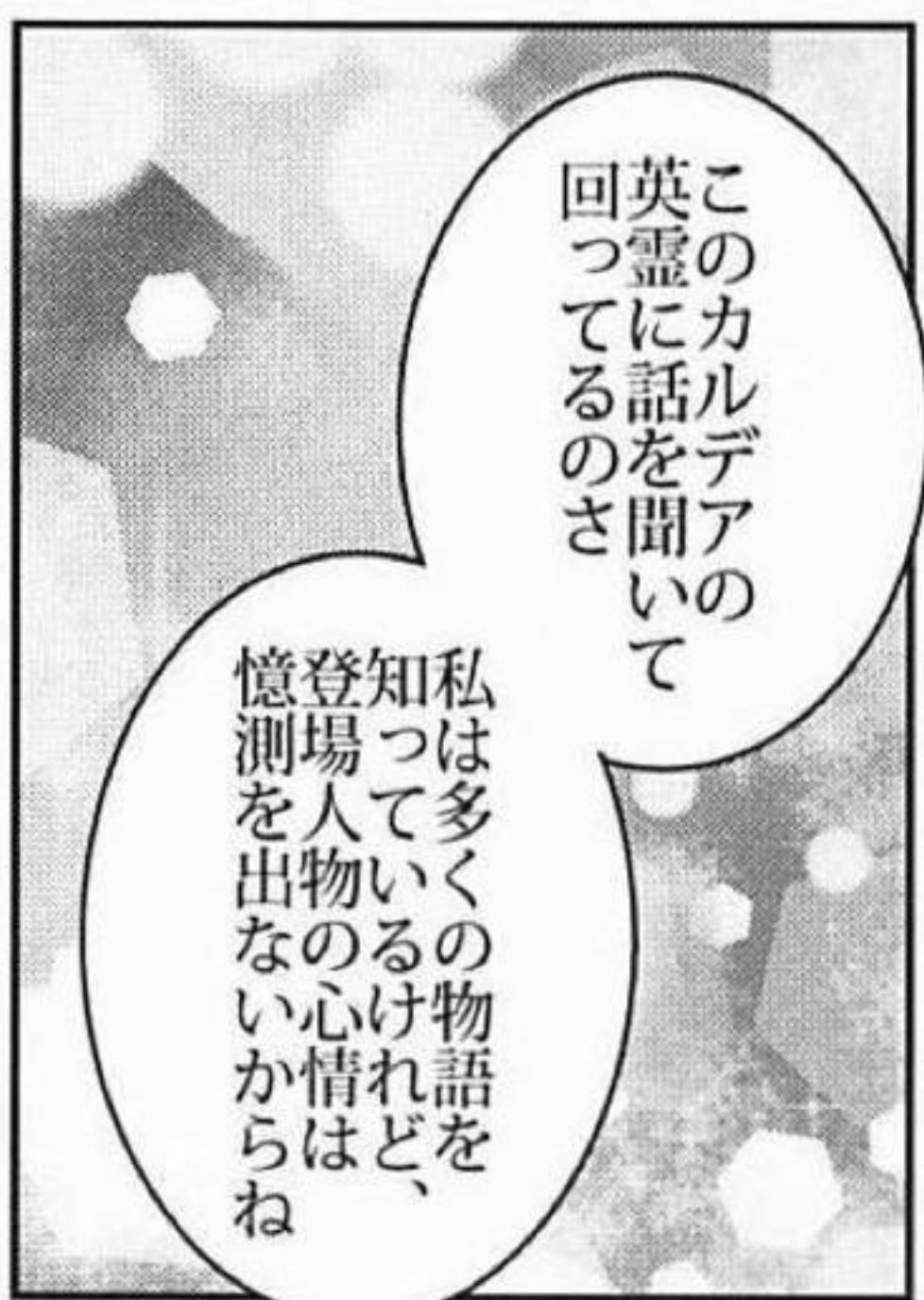
やあ、
ごきげんよう

こんなところで
会うとは奇遇だね



白々しいな、
お前には
見えているだろう
『花の魔術師』

なに、言葉の綾さ。
挨拶みたいなの
ものだと
思っただけ



このカルデアの
英霊に話を聞いて
回ってるのさ

私は多くの物語を
知ってるけれど、
登場人物の心情は
憶測を出ないからね



個人的な
都合なだけで
キミに
用があつてね

オフの所
悪いけど
付き合っ
てくれるかい？



ふむ…
全能故の
自己中心的な
思考だが

オレなどで
良ければ
構わない

微妙に言葉に
棘があるね！？

人間が好きなの
同士の仲良くしよう
じゃないか！

お前の
それとは違う

せき

キミの物語、
随分と
酷くないかい？

釣れないなあ
にしても

もつと翳りのない
ハッピーエンドでも
良いと思うんだけど

それは愚弄と
取って良いのか？

いやすまない、
キミたちの勇姿は
否定しないけど
どうも釈然と
しなくて……

色々
尋ねたいことは
あるんだけど

長くなるから
一つだけに
しよう

叙事詩
『マハーバラタ』、
その中心人物の
一人である
『施しの英雄』――

我が道を信じ戦い、
最期まで
英雄らしさを貫いた

キミはその先に
死の運命が
あろうとも

だが、
客観的に見て

少なからず
私からすれば

やはり
他者の介入によって
運命は狂わされた
ように思える

何より
キミがよく知る
もう一人の英霊は

『英雄になるべく
生み出された』、
：周りの思惑に
振り回されし
最たる人物だ

誰しも一人の
人間のはずなのに、
英雄であること
以外を選べない

自ら選択した者、
そうするしか
なかった者――

私にはキミたちの
気持ち解らない、
：だからどうか
教えてほしい





あの時の事を
赦されたかっ
たの
かもしれな
い



答えとしては
不足か？

いや、...

もしかして、
ボクがこうして
いるのは



答えてくれて
ありがとう

しかし英霊で
ありながら
後悔が無いのは
変じゃないかい？

む、そうか？



質問の御礼を
置いていくよ

これを淹れて『彼』と
ティータムとか
良いんじゃないかな？



礼には及ばんが、
頂いておこう

ひら

ひら

それじゃ
私は失礼するよ、
ではまた！



。。



英雄カルナ…

「誰かが
案外人間ぽい」
なんて言ってた
気がするけど、

キミもまた
全てを
赦すというなら



それはやはり
『神』に近いものな
考え方ではないかな





花の魔術師から
貰った茶葉だ

マーリンさん
からですか？
意外ですね



腕というか
ソレは何……？



カルナさんから
出迎え!? 珍しいっ

すん?



皆にもいざれ
振る舞いた
ところだが……

この後は一度
アルジュナに
飲んでもらおう
思っ

は?



兄弟
水入らず
ですね……!

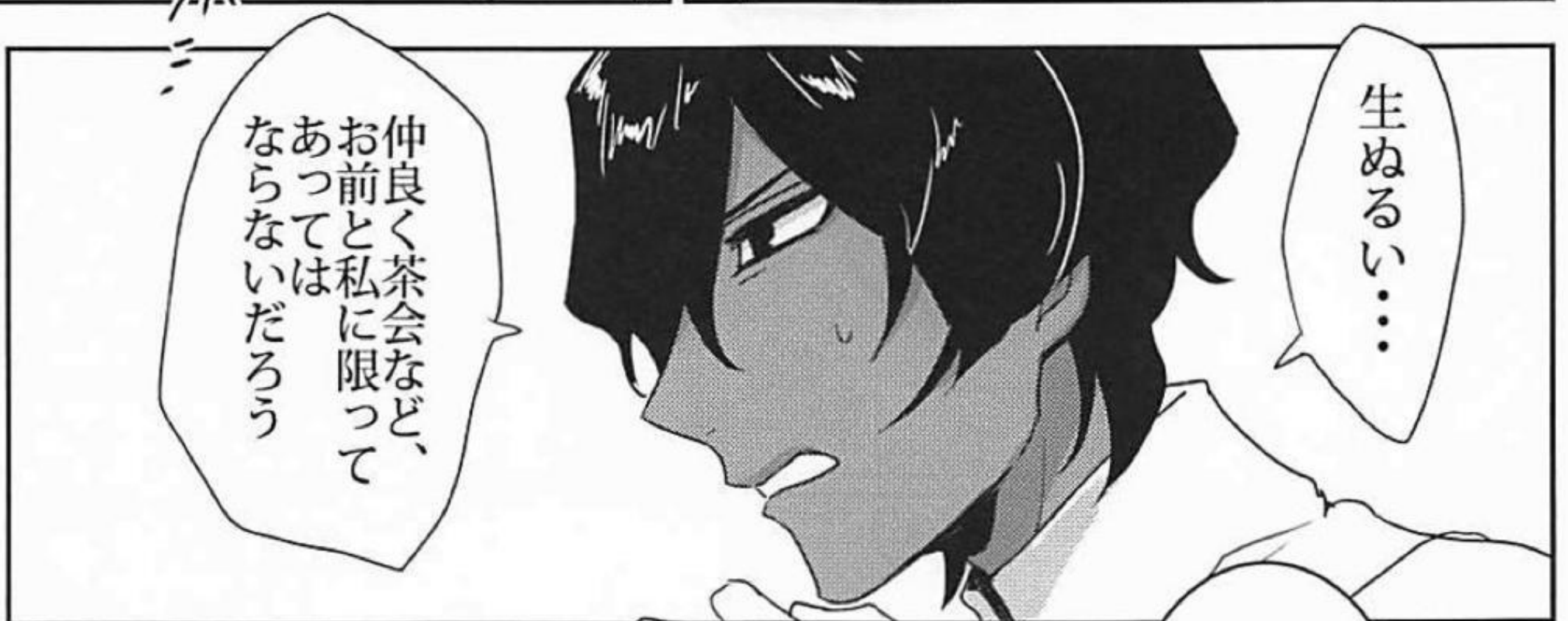
こちらの事は
お気にさらず、
仲良くして
頂ければと!

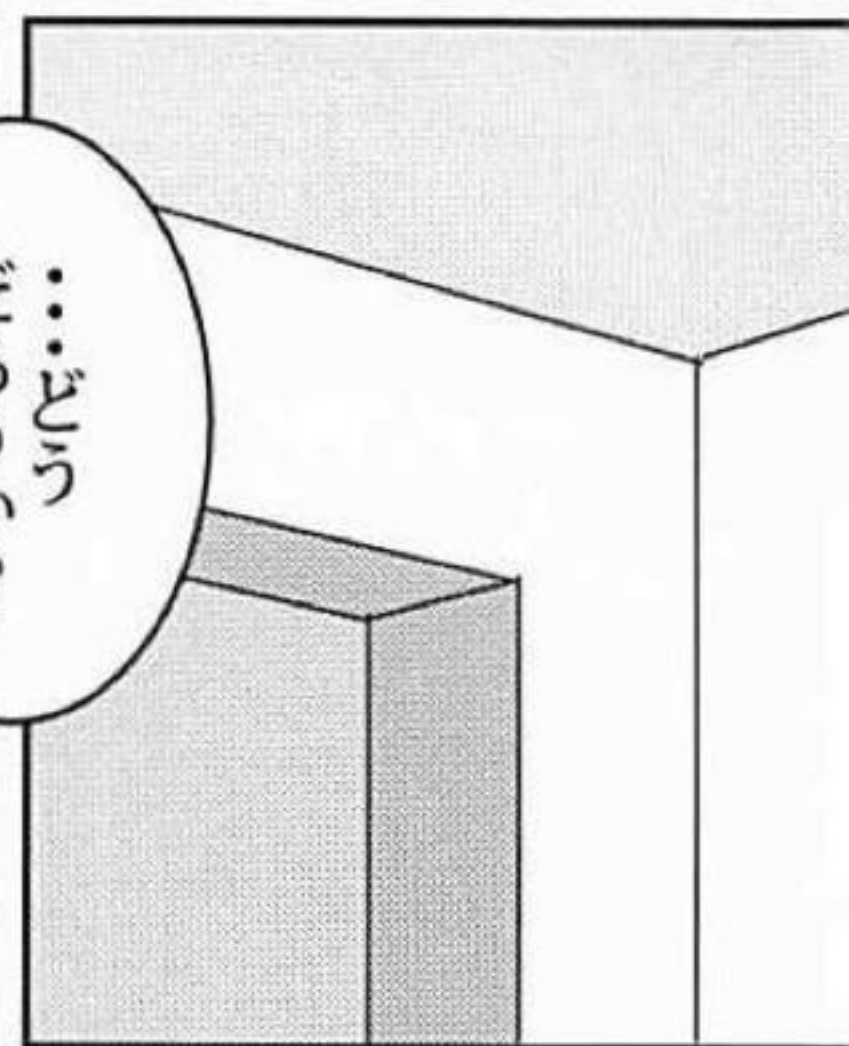
いえ、私は……

良いじゃん、いつも
微妙な距離なんだし
お茶してきなよ!
あつても喧嘩して
もの壊さないでね!

ぽんぽん







どうして
私だけが
こんな

おかわりも
あるがどうだ

確執に
囚われて
いる
かのよう

アルジュナ？

—っ、それ以上
そんな目で見えるな!!





やはり私は
ただ一人の

『人』を殺して
しまったの
ではないかと

多くの血を
流してきてなお
言う言葉ではないが



きっと、
私とお前は
近くにいるべき
ではない

…それは
出来んな

何故……っ？う、

アルジュナ？

!?



一体何を
した……？

しっかり
しろ……
何が……

貴様……

私に、

……！これは、



茶に入って
何か……
いたか……

やはり
あの男は
気が抜けん

何の話を、している！



すまん、
オレの失態だ。
責任を取ろう

どうやって……いや、いい、
貴様の施しなどこれ以上、

聞け
アルジュナよ

たとえおまえが
忌もうとも、
おまえの前でオレは
在り方を変えん

もとより
『神』でもなく、
『人』でもない……

おまえにとって
オレはオレでしか
ないからだ

そして
どんな形であれ

関わりを
遠ざける気も
毛頭ないのでな

だから――

おまえの
抱える
自責、
自己嫌悪……

その痛みにな
慣れることなく
耐えてくれ







あああああ、
う、あ……!

待て、

まだイツ……

あアツ、あ!

やめ、っあ

オレが、
する、う、
からあ……っ!

討つべき
宿敵のことなど
知りたくない

知ってはいけない、
— と思うのに、



どこまでも
悪い男
なのだろう





そうだな…オレと
宿業を交わしたのが
運の尽き、という所か

一体
何の話だ…



オレはどんなも
手を使つてでも、

おまえにとつて
無視出来ん存在で
ありたいからな

む、そうだな…

分かりやすく
言うならば
仲良く
したかった、か…？



…
…
…

…意味が
分からない

どうにも
この宿敵、
知ろうにも――

永らく
理解出来る日は
来そうにない

一つだけ余談ですが
アルジュナくんがカルナさんを殺してしまったというのは物理的な意味と、
出逢ってしまった為にただ『人』として生きる道を奪ってしまったという
二重の意味合いもあるんじゃないかなあという話でした。
人っぽいカルナさん解釈違いですなアルジュナくん好きで何度も描いちゃう…
読んで下さりありがとうございました！

2018.08.10 発行
置くみる／劇団レトロ座

印刷 ： BRO'S
※無断転載・オークション出品を禁じます。



びいさゅん。

FGO FAN BOOK #5
Arjuna Karna
presented by Gekidan Retro Za.